

## 避難所で炊き出しを続ける学生と 双葉町民を避難させた前町長が

# あなたに 伝えたい

【日程】 2013年11月3日（日）  
【会場】 東大宮コミュニティセンター  
【共催】 「原発」国民投票 埼玉県賛同人会  
脱原発さいたま市  
【後援】 生活クラブ生活共同組合

本日の売上とカンパ、その黒字分は福島県双葉町に寄付いたします。  
カンパは受付の箱にて集めております。  
双葉町民へのご支援、よろしくお願い致します。

## ご来場、ありがとうございます

本日は、お忙しい中ご来場くださりまして、誠にありがとうございます。

皆様ご存知の通り、2011年3月11日に東日本大震災が発生。そして、翌12日、取り返しのつかない事故が起こりました。福島第一原発の爆発。チェルノブイリと同じく、国際基準で「レベル7」という、原子力事故において最も深刻な事態です。メルトダウンした原子炉は、今なお放射性物質を放出し続けています。また、汚染水による土壌や海中の汚染がひどくなっているのは、報道でもご存知かと思えます。

この福島第一原発で作っていた電気は、東京電力管内の私たちが使用していた電気です。その事故で、今日、お話いただく井戸川前双葉町長を始めとした福島の方々が、避難せざるを得ない状況に追い込まれました。事故が起きたことも、双葉町民をこのような状態にしたのも、人ごとではないのです。私たち一人一人に、関係あることなのです。

町民を埼玉まで避難させた井戸川さんから、そして、その避難所に通い続け、双葉町の方と直接お会いしてる脱原発さいたま市の学生たちから、何かを感じ取っていたければ幸いです。そして、原発事故の被害者が風化しないように、二度と、このようなことを起こさないために、今後、自分だったら何ができるのか、ご家族やご友人、同僚の方……一人でも多くの方と、意見交換してください。この講演会の内容が、私たちが伝えることが、全てではありません。あなたの目で、耳で、心で、

さまざまところから情報を集めてください。福島県いわき市に移住された双葉町民、避難所に残る双葉町民、避難所の近くに住む双葉町民……みなさん、状況も思いもそれぞれのことと思います。



## - プログラム -

### ●講演会 会場：ホール

15:15 主催挨拶  
15:30 講演) 双葉町前町長 井戸川克隆さん  
17:00 休憩  
17:15 講演) 高校生 松崎美結さん  
17:30 講演) 大学生 工藤貴子さん  
17:45 主催挨拶  
18:00 講演会終了

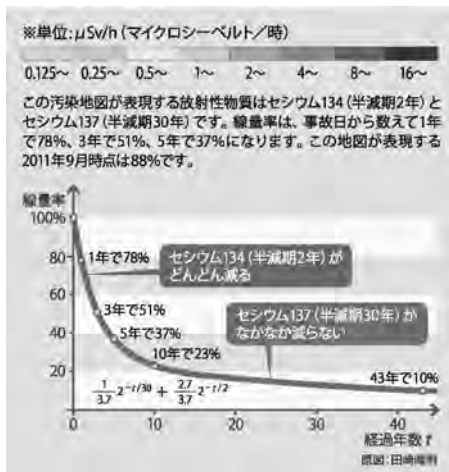
### ●交流会 会場：和室

※会場の都合上、事前予約されていない方で参加をご希望される場合は、受付スタッフにご確認ください。

18:15 開始  
19:15 終了



# 福島第一原発に近い場所にある双葉町



群馬大学教授 早川由紀夫先生による、放射能汚染マップ (2013年2月8日版)

## 講師) 双葉前町長と、炊き出しを続ける学生



福島県双葉町 前町長  
井戸川 克隆 さん

### ▼講演テーマ

正しい歴史を残す大切さ  
{ 福島事故は正しくない }

### ▼紹介

2005 ~ 2013年、双葉町長を務められた井戸川さん。福島原発の重大事故を受け、福島県の首長の中でただ一人、町民の県外避難を実現。

2012年10月・2013年5月には、ジュネーブの国連人権理事会総会に赴き、原発事故後の福島の状態を訴えました。



高校生  
松崎 美結 さん

### ▼紹介

・炊き出し参加のきっかけは？

入学した高校で、ボランティアをしている先生がいて、今まで震災のために、被災者のために、何もできなかったのが、今からでも力になれたらと思い、その先生にボランティアのことを聞きに行ったこと。

・これから行いたい活動は？

騎西高校は廃止に向かっているとされていますが、もし本当に騎西高校が廃止になっても違う場所に避難した方々を下から支えること。

・みなさんに伝えたいことは？

自分が何かをしなきゃと思っている人がいるならば、行動で示さないと人には伝わらないということ。



大学生  
工藤 貴子 さん

### ▼紹介

・炊き出し参加のきっかけは？

私は、2012年9月から脱原発さいたま市のメンバーとして活動をさせてもらっています。震災前から何か自分から行動をしなくてはいいかと思っていましたが、勇気を出すことができず、普通の大学生を送っていました。高校時代の恩師に再会し、自分も何かをしなくてはいいかと強く感じ、トーク会で決まった炊き出しに参加しようと思いました。

・これから行いたい活動は？

今起きている全ての問題に対し、若い人たちに向き合ってもらえるような機会やきっかけを与える活動をしたいと思っています。若い人たちは、好きで無関心なわけではないと最近思いました。そのためにも、私たちに合わせてもらうのではなく、彼らの興味を引くようなことを行いながら今起きている問題について熱く語っていききたいです。

・みなさんに伝えたいことは？

「私なんか動いても変わらない」それは違います。あなたの力がないと始まりません。無力な人間なんて一人もいません。一歩踏み出したら、違う景色が見えてきます。あなたの力があつたから変わることだってたくさんあります。

# 双葉町民、原発事故により、埼玉県に避難



写真提供：映画『フタバから遠く離れて』



写真提供：映画『フタバから遠く離れて』



## ●2011年3月12日 原子力発電所、爆発

今も続く、放射性物質による汚染。福島県双葉町は、立ち入りを許されない「警戒区域」となりました。

自分の家です。ふるさとです。思い出が、自身の人生が詰まった場所です。それなのに、「帰ることは許さない」と、政府から言われたのです。

あなたは、この講演会の後、ご自宅に帰られることでしょうか。想像してください。その途中の道が、フェンスで塞がれていることを。近づくことすら許されない。その状況が2年以上も続くことを。

## ●2011年3月19日 さいたまスーパーアリーナへ避難

双葉町民約1,200名が、この埼玉県に避難しました。

「すぐに帰宅できると思っていた。だから、着の身着のまま避難した」と、町民の方から伺いました。

## ●2011年3月30日 旧騎西高校へ移住

現在も生活されている廃校です。

教室に畳を敷き、病院で使うベッドを置いて暮らしています。同じ町の方とはいえ、仕切りなどプライベートがない状態で、他人との長い共同生活です。

仕事も奪われ、収入がなくなったとしても、生活を続けなければなりません。若い方々は避難所を後にし、新たな仕事を探しに行きました。

ご高齢の方、体が不自由な方などは、避難所に残らざるをえません。平均年齢が68歳。最高齢の方は94歳です。(2013年3月10日現在)

### ・食事の有料化

避難当初、お弁当が無料配布されていましたが、後に有料化。生活費を節約するため、2食に減らしている方もいらっしゃいます。

### ・炊き出しやイベントのボランティアが、騎西高校へ

随時、色々なグループがボランティアを行っています。食事の提供、歌や踊り、マッサージなど。

## ●2013年5月28日 「帰還困難区域」「避難指示解除準備区域」へ再編

双葉町は「警戒区域」から再編されました。しかし、双葉町民の96%が「帰還困難区域」。何年も帰宅できません。長い避難生活が、これからも続きます。自宅での生活を、断念される方もいらっしゃいます。

## 双葉町民避難状況(2013年10月1日現在)

福島県内に避難	3,846人
福島県外に避難	3,047人

埼玉県には	948人
内、旧騎西高校には	89人

この避難生活は、ドキュメンタリー映画にもなっています。こちらもぜひ、ご覧ください。



『フタバから遠く離れて』  
<http://nuclearnation.jp>



『原発の町を追われて』  
<http://genpatufutaba.com>

# 主催グループの活動紹介

「原発」国民投票  
埼玉県賛同人会

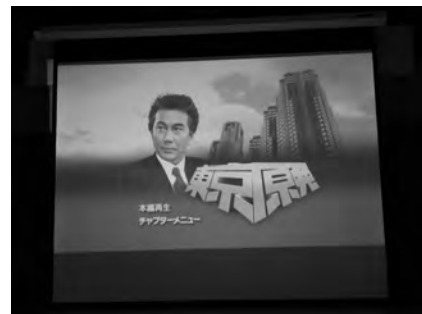
「日本の原発をどうするか？」

この国の未来を「誰か」に委ねるのではなく、私も、あなたも、一人ひとりが引き受けて考え、選びませんか？

それが「原発」国民投票です。私たちが目指している国民投票は、法的拘束力を持たない「諮問型」。国民の強い意思表示であり、議員は最大限それを「尊重する」義務があります。

全国各地で活動を行っており、埼玉県賛同人会は、その名の通り埼玉県のグループ。

国民投票の実現に向け、署名活動を行っています。また、より多くの方に原発の状況を知っていただきたいと、関心を持っていただきたいと考え、原発関係の講演会や上映会を開催しています。



## ● 今後の活動予定

11月24日 13:40～ DVD上映会『真実はどこに？』 会場) 武蔵浦和コミュニティセンター 第10集会室  
チェルノブイリの放射能汚染を巡って、なぜ科学者が誰一人まともに反論しないのか。子どもの成長の遅れ、異常な衰弱状態、病気回復の遅れ、老化の加速、新生児患者の増加・・・住民や子どもたちの消されてしまった声。

12月23日 13:40～ DVD上映会『はだしのゲン』 会場) 浦和パルコ 第11集会室



双葉町の方への支援が主な活動です。

現在のメンバーは、高校生から社会人まで。ボランティアや炊き出しの素人ばかり。

単なるボランティアで終わらせるのではなく、原発問題について“感じ”、“考え”、“行動する”、そのきっかけづくりの場としています。

2012年11月18日、第1回『温かい食事&お誕生日おめでとうプロジェクト』を実施しました。活動には、いろいろな方からいただいているカンパ、そして、寄付いただいた食材を使わせていただいています。

手作りの食事だけでなく、お誕生月の方にケーキとメッセージカードもプレゼント。また、音楽イベントも同時開催し、双葉町の方とっしょに歌ったり、演奏をプレゼントしたりしています。

配膳やイベントの前には、各教室を周り、直接お話しして、配膳やイベントの時間や内容を伝えて回ります。

## ● 今後の活動予定

11月 9日 料理研究家枝元なほみさん企画。双葉町の方とっしょに騎西高校にて調理。

11月10日 9日の料理を、新日本瓦斯(株)主催のガス展にて、来場者におふるまい。

会場) 埼玉県久喜市下早見818

11月17日 騎西高校にて、第9回『温かい食事&お誕生日おめでとうプロジェクト』実施。

脱原発さいたま市

